

科目名	SCH100: 人間学I <共通シラバス>			担当教員	丹木 博一, 小林 宏子, 島村 絵里子
開講期	春	開講時限			

【評価方法：変更あり】

【評価基準：変更あり】

評価方法	①毎回の事前課題の提出（20％），②授業毎のリアクションペーパー（28％），③理事長による講演へのリアクションペーパー（2％），④中間課題（1,000～1,200字の小レポート）（20％），⑤期末課題（小論文）（30％）
評価基準	① 毎回の事前課題の提出：課題となる準備学修を行い、成果物を毎回提出する。2%×10回。以下の「準備学修」欄に記載の「要約」の課題を授業前日までに Moodle にて提出。 ② リアクションペーパー：授業内容を踏まえ、自分の意見や疑問を分かりやすく記述できること。Moodle にて提出。2%×14回 ③ 理事長による講演へのリアクションペーパー：講演を聞き、重要なポイントを指摘してその意味を説明できること。Moodle にて提出。2% ④ 中間課題：1,000～1,200字の小レポート。「他者との共生」について人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。Moodle にて提出。20% ⑤ 期末課題：1,800～2,000字の小論文。人間に「生老病死」の苦しみがあることを踏まえながら、「どうしたら希望をもって生きられるか」について、事前に最低一冊の「参考文献」（書誌データを明記すること）を読み、内容のポイントを簡潔に要約した上で、自分の考えを分かりやすく展開できること。Moodle にて提出。30%。

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容
授業計画	「定期試験を実施する」を「定期試験を実施しない」に変更する。

科目名	PHL203: 哲学 A		担当教員	丹木 博一
開講期	春／秋	開講時限	(春) 月 4 限 (秋) 火 5 限	

【評価方法：変更あり】

【評価基準：変更あり】

評価方法	① 授業毎の課題 (20%) , ② 授業毎のリアクションペーパー (14%) , ③ 中間レポート (2,000 字以上) (30%) , ④ 期末レポート (36%)
評価基準	① 授業毎の課題: 事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。 ② リアクションペーパー: 講義内容を正しく理解し、問題関心を明記できるかどうか。 ③ 中間レポート : 1,200 字～1,400 字。プラトン『饗宴』前半 (172A-197E) について哲学的問いを提起し、その問いがテキストのなかでどのように議論されているかを、自分の言葉で論理的に論述展開できるかどうか。 ④ 期末レポート : 2,000 字～2,200 字。プラトン『饗宴』後半 (198A-223D) について哲学的な問いを提起し、その問いについてプラトンがどう考えているかを自分の言葉で考察する。問いが哲学的であり、考察に説得力があるかどうか。

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容
授業計画	「定期試験を実施する」を「定期試験を実施しない」に変更する。

科目名	PHL204: 哲学 B		担当教員	丹木 博一
開講期	春／秋	開講時限	金 5 限	

【評価方法：変更あり】

【評価基準：変更あり】

評価方法	① 授業毎の課題（20%），② 授業毎のリアクションペーパー（14%），③ 中間レポート（2,000 字以上）（30%），④ 期末レポート（36%）
評価基準	① 授業毎の課題：事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。 ② リアクションペーパー：講義内容を正しく理解し、問題関心を明記できるかどうか。 ③ 中間レポート：1,200～1,400 字。ライプニッツ『モナドロジー』に登場する「不可識別者同一の原理」について哲学的問いを提起し、その問いがテキストのなかでどのように議論されているかを、自分の言葉で論理的に論述展開できるかどうか。 ④ 期末レポート：2,000 字～2,200 字。ライプニッツ『モナドロジー』で議論されている「私と世界の関係」について哲学的な問いを提起し、その問いについて自分の力で考えたことを自分の言葉で展開する。問いが哲学的であり、考察に説得力があるかどうか。

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容
授業計画	「定期試験を実施する」を「定期試験を実施しない」に変更する。

科目名	REL201: 宗教学 A		担当教員	小林 宏子
開講期	春／秋	開講時限	(春) 月 3 限 (秋) 月 2 限	

【評価方法：変更あり】

【評価基準：変更あり】

評価方法	① 復習課題の Moodle への提出 (4%×4 回=16%) ② 授業中やグループ内での積極的発言 (14%)、リアクションペーパー (4%×10 回=40%) ③ 小論文 (30%)
評価基準	① テキストや授業で扱われた旧約聖書に登場する人物、用語、概念に関する問いに、正しく答えられること ② 準備学修で得た自分の見解や疑問をグループ内で積極的に話し合えること、及び、授業で学んだ聖書解釈上の知識に対するコメントを自分の言葉で表現できること ③ 「旧約聖書の登場人物の中で最も興味を引く人物」について一つの問いを立て、どのような点においてか、また、その理由を含めて 1,000 字以内の小論文を書けること

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容
「授業計画」内の「テーマおよび学習内容」	第 3, 6, 9, 12 回目「授業内小テスト①～④」は実施せず、代わりに「復習課題①～④」を Moodle へ提出する。
「授業計画」	「定期試験を実施する」を「定期試験を実施しない」に変更し、期末課題の内容を、小論文作成のみに変更する。

科目名	REL202: 宗教学 B		担当教員	小林 宏子
開 講 期	秋	開 講 時 限	木 1 限	

【評価方法：変更あり】

【評価基準：変更あり】

評価方法	① 復習課題の Moodle への提出 (4%×4 回=16%) ② 授業中やグループ内での積極的発言 (14%)、リアクションペーパー (4%×10 回=40%) ③ 小論文 (30%)
評価基準	① テキストや授業で扱われたキリスト教の用語や概念の意味と内容に関する問いに、正しく答えられること ② 準備学修で得た自分の見解や疑問をグループ内で積極的に話し合えること、及び、授業で学んだ聖書解釈上の知識に対するコメントを自分の言葉で表現できること ③ 「キリスト教が説く救いは、現代の日本社会においてどのような意味を持つのか」について 1,000 字以内の小論文を書けること

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容
「授業計画」内の「運営方法、教育手法」	第 3, 6, 9, 12 回目「授業内小テスト①～④」は実施せず、代わりに「復習課題①～④」を Moodle へ提出する。
「授業計画」	「定期試験を実施する」を「定期試験を実施しない」に変更し、期末課題の内容を、小論文作成のみに変更する。

科目名	MUS201: 音楽 A	担当教員	北村 さおり
開講期	秋	開講時限	木 2 限

【評価方法：変更なし】

【評価基準：変更あり】

評価方法	①授業課題提出 2%×10 回=20% ②授業内試験 70% ③期末レポート課題 10%
評価基準	①予習・復習を目的とした授業毎の課題を翌週の授業で提出する。 ②自筆ノート、提出した授業課題、テキストや配布プリントの持ち込みを可とする。テキストと授業の内容を的確に理解しているかどうか。 ③任意の作品やテーマについてのレポート提出。調べ学習にとどまらず、授業を踏まえた内容で、自身の考えを比較や考察を加えて論述すること。（引用や参考文献など、レポートの形式が整っているもののみ採点対象とする）

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容

科目名	EDU201: 教育学 A		担当教員	杉村 美佳
開講期	春	開講時限	月 3 限	

【評価方法：変更あり】

【評価基準：変更あり】

評価方法	① 授業参画(10%)、② 授業時に課すリアクション・ペーパー (30%)、 ③ テイクホームエグザム(30%)、④ レポート (30%)
評価基準	① 授業参画：積極的に発言や質問を行っているか。 ② リアクション・ペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に考察できているか。 ③ テイクホームエグザム：授業内容を理解し、設問に対して正確に答えられているか。 ④ レポート：参考文献の内容を理解し、教育学的観点から論理的に論述できているか。

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容
「授業計画」内の「テーマおよび学習内容」	第 11 回目の「授業内試験」を「テイクホームエグザムの説明および準備」に変更する。

科目名	EDU201: 教育学 A		担当教員	青木 由紀子
開講期	秋	開講時限	火 2 限	

【評価方法：変更あり】

【評価基準：変更あり】

評価方法	① 授業時に課すミニレポート (50%) ② 期末レポート (50%)
評価基準	① ミニレポート：授業やテキストの知識内容を理解し、学んだ用語や概念を適切に用いながら、与えられたテーマについて自分の言葉で論述されているか。 ② 期末レポート：自ら問題設定をし、参考文献の内容を生かしながら、教育学的観点から論理的に論述できているか。

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容
「授業計画」内の「テーマおよび学習内容」	第 11 回の「授業内試験」を実施しない。

科目名	EDU202: 教育学 B		担当教員	杉村 美佳
開講期	春	開講時限	金3限	

【評価方法：変更あり】

【評価基準：変更あり】

評価方法	① 授業参画(10%)、② 授業時に課すリアクション・ペーパー (30%)、 ③ テイクホームエグザム(30%)、④ レポート (30%)
評価基準	① 授業参画：積極的に発言や質問を行っているか。 ② リアクション・ペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に考察できているか。 ③ テイクホームエグザム：授業内容を理解し、設問に対して正確に答えられているか。 ④ レポート：参考文献の内容を理解し、教育学的観点から論理的に論述できているか。

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容
「授業計画」内の「テーマおよび学習内容」	第10回目の「授業内試験」を「テイクホームエグザムの説明および準備」に変更する。

科目名	EDU202: 教育学 B		担当教員	青木 由紀子
開講期	秋	開講時限	火3限	

【評価方法：変更あり】

【評価基準：変更あり】

評価方法	① 授業時に課すミニレポート (50%) ② 期末レポート (50%)
評価基準	① ミニレポート：授業やテキストの知識内容を理解し、学んだ用語や概念を適切に用いながら、与えられたテーマについて自分の言葉で論述されているか。 ② 期末レポート：自ら問題設定をし、参考文献の内容を生かしながら、教育学的観点から論理的に論述できているか。

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容
「授業計画」内の「テーマおよび学習内容」	第 11 回の「授業内試験」を実施しない。

科目名	BUS201: 経営学 A		担当教員	杉山 章
開講期	春	開講時限	木 5 限	

【評価方法：変更あり】

【評価基準：変更あり】

評価方法	・WEB テスト*：60% (1) 前半試験：30% (2) 後半試験：30% ・授業態度、取り組み姿勢：40% <WEB テスト*：このテストは、授業時間外に任意に設定した時間帯で実施し、授業内容の理解度の確認を目的としており、配布資料や参考文献の閲覧を可とした文章の記述式とする。詳細はガイダンスにて説明する>
評価基準	・WEB テスト：講義で学んだ経営学の理論、用語などを使って説明できているか理解度を評価する。 ・授業態度、取り組み姿勢：授業毎に行う小課題（リアクションペーパー）を評価する。また講義への参加意識や受講姿勢は、状況に応じて成績評価の加点、減点の対象になる場合がある。

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容

科目名	BUS202: 経営学 B		担当教員	杉山 章
開講期	秋	開講時限	木 5 限	

【評価方法：変更あり】

【評価基準：変更あり】

評価方法	・WEB テスト*：60% (1) 前半試験：30% (2) 後半試験：30% ・授業態度、取り組み姿勢：40% ＜WEB テスト*：このテストは、授業時間外に任意に設定した時間帯で実施し、授業内容の理解度の確認を目的としており、配布資料や参考文献の閲覧を可とした文章の記述式とする。詳細はガイダンスにて説明する＞
評価基準	・WEB テスト：講義で学んだ経営学の理論、用語などを使って説明できているか理解度を評価する。 ・授業態度、取り組み姿勢：授業毎に行う小課題（リアクションペーパー）を評価する。また講義への参加意識や受講姿勢は、状況に応じて成績評価の加点、減点の対象になる場合がある。

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容

科目名	JRN202: マスメディア論 A			担当教員	吉武 希
開講期	春／秋	開講時限	(春) 月 4 限 (秋) 月 3 限		

【評価方法：変更あり】

【評価基準：変更あり】

評価方法	①Reaction Paper (20%) ②授業への積極的参加 (20%) ③期末レポート (30%) ④授業内試験レポート 2 回 (30%)
評価基準	①講義内容を踏まえて自分の意見を論理的に述べられているか。②グループワーク等に積極的に参加し、指定テーマについてのディスカッションでは、学術的な発表ができていないか。 ③講義内容でもあるマスメディア論を題材としたテーマについて、参考文献を用いる等、データに基づいて論理的に述べられているか。④授業内容について内容を理解し、設問に対して適切に回答、自分の意見を述べる事ができているか。

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容
授業計画 第 5 回	【テーマおよび学習内容】 第 1 回 授業内試験レポート ディスカッション メディア理論への導入 【運営方法、教育手法】 授業内試験レポート、講義
授業計画 第 10 回	【テーマおよび学習内容】 第 2 回 授業内試験レポート ディスカッション メディアの現在（番外編）：メディアと教育 【運営方法、教育手法】 授業内試験レポート、講義
その他の特記事項	授業内試験レポートでは教科書などの持ち込みは可能となる。 授業計画は、ハイフレックス授業のため、受講態度や機材のトラブル等を検討の上、変更の可能性のあることに留意すること。変更の場合は、事前に告知する。

科目名	JRN203: マスメディア論 B			担当教員	吉武 希
開講期	春／秋	開講時限	(春) 月 5 限 (秋) 月 4 限		

【評価方法：変更なし】

【評価基準：変更なし】

評価方法	
評価基準	

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容
その他 特記事項	「発表テーマ」はハイフレックス授業のため、希望を聞いてからの個別発表にするかグループ発表にするかは未定となる。また、授業計画は、ハイフレックス授業のため、受講態度や機材のトラブル等を検討の上、変更の可能性があることに留意すること。変更の場合は、事前に告知する。

科目名	MTH201: 数学 A		担当教員	津垣 正男
開講期	秋	開講時限	火 5 限	

【評価方法：変更あり】

【評価基準：変更あり】

評価方法	① 毎回の授業での課題：60% ② 適性検査・SPI 対策レポート（2 回）：40%
評価基準	① 毎回の課題の評価は「考え方が理解できているかどうか」を重視するので、途中計算と説明の記述を求める。 ② 実際の適性検査・SPI と同様の問題を用いたレポートを 2 回出す。ただし、考え方の確認も行うので、途中計算と説明の記述の確認も行う。詳細は初回授業で説明する。

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容

科目名	MTH202: 数学 B		担当教員	津垣 正男
開 講 期	秋	開 講 時 限	金 5 限	

【評価方法：変更あり】

【評価基準：変更なし】

評価方法	① 各回のテーマに関する提出課題：60% ② レポート（2 回）：40%
評価基準	

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容

科目名	PSY201: 心理学 A		担当教員	奥村 桃子	
開 講 期	春／秋	開 講 時 限	木 2 限		

【評価方法：変更あり】

【評価基準：変更あり】

評価方法	毎回の授業態度とリアクションペーパー50%、レポート 2 回 50%
評価基準	リアクションペーパーによって、授業で学習したポイントを理解し授業内容を踏まえた自らの考えを記述できているかどうか、質問・疑問を通じて積極的に授業に参加しているかどうかを評価します。また、レポートによって学習内容を理解した上で、自分なりの考えを経験等と照らし合わせて記述しているかどうかを評価対象とします。

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容
「授業計画」内の「テーマおよび学習内容」	第 7 回目、第 13 回目の「授業内試験」を実施しない。
「授業計画」内の「テーマおよび学習内容」	第 7 回目「社会心理学 (2) 対人認知・他者の理解」に変更。
「授業計画」内の「テーマおよび学習内容」	第 13 回目「臨床心理学 (6) 心理療法の理論と技法」に変更。
「授業計画」内の「準備学修 (予習・復習)」	第 6 回目「前回の授業復習と他者理解についての事前学習」に変更。
「授業計画」内の「準備学修 (予習・復習)」	第 7 回目「第 1 回～第 7 回の授業の復習 (レポート作成の準備)」に変更。
「授業計画」内の「準備学修 (予習・復習)」	第 8 回目「前回の授業復習と心理アセスメントについての事前学習」に変更。
「授業計画」内の「準備学修 (予習・復習)」	第 11 回目「前回の授業復習と発達障害についての事前学習」に変更。
「授業計画」内の「準備学修 (予習・復習)」	第 12 回目「前回の授業復習と心理療法についての事前学習」に変更。
「授業計画」内の「準備学修 (予習・復習)」	第 13 回目「第 8 回～第 13 回の授業の復習 (レポート作成の準備)」に変更。

科目名	PSY202: 心理学 B		担当教員	奥村 桃子
開講期	春／秋	開講時限	木 3 限	

【評価方法：変更あり】

【評価基準：変更あり】

評価方法	毎回の授業態度とリアクションペーパー50%、レポート 2 回 50%
評価基準	積極的な質問や発言等の授業態度、および授業内容を踏まえた自らの考えをリアクションペーパーに記述できているかを評価対象とします。レポートでは、学習したポイントを正確に理解できているか、自らの考えや発見を視覚教材や自らの経験を踏まえて記述できているか、が評価基準となります。

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容
「授業計画」内の「テーマおよび学習内容」	第 9 回目、第 13 回目の「授業内試験」を実施しない。
「授業計画」内の「テーマおよび学習内容」	第 9 回目「子どもの自己発達 自己を表現する」に変更。
「授業計画」内の「テーマおよび学習内容」	第 11 回目「他者との関係性のはじまり (2) 友人関係の発達」に変更。
「授業計画」内の「テーマおよび学習内容」	第 12 回目「親になること」に変更。
「授業計画」内の「テーマおよび学習内容」	第 13 回目「認知能力の生涯発達 成人後・高齢期の認知能力」に変更。
「授業計画」内の「運営方法、教育手法」	第 5 回目の「レポート作成」を実施しない。
「授業計画」内の「準備学修（予習・復習）」	第 8 回目「第 1 回～第 8 回の授業の復習（レポート作成の準備）」に変更。
「授業計画」内の「準備学修（予習・復習）」	第 9 回目「前回の授業復習と乳幼児の遊びについての事前学習」に変更。
「授業計画」内の「準備学修（予習・復習）」	第 10 回目「前回の授業復習と友達関係についての事前学習」に変更。
「授業計画」内の「準備学修（予習・復習）」	第 11 回目「前回の授業復習と親になることについての事前学習」に変更。
「授業計画」内の「準備学修（予習・復習）」	第 12 回目「前回の授業復習と成人・高齢期の認知能力についての事前学習」に変更。
「授業計画」内の「準備学修（予習・復習）」	第 13 回目「第 9 回～第 13 回の授業復習（レポート作成の準備）」に変更。

科 目 名	PED113: 体育 A		担当教員	岸 秀忠
開 講 期	春／秋	開 講 時 限	火 2 限	

【評価方法：変更なし】

【評価基準：変更なし】

評価方法	
評価基準	

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容
その他・特記事項	原則、実技授業のため対面での受講が可能な学生が望ましい。 また、授業中のワークに関してはソーシャルディスタンスの確保、マスク着用にて実施する

科 目 名	PED114: 体育 B		担当教員	岸 秀忠
開 講 期	春／秋	開 講 時 限	火 3 限	

【評価方法：変更なし】

【評価基準：変更なし】

評価方法	
評価基準	

※その他の変更点

セクション名 (欄名)	変更内容
その他・特記事項	原則、実技授業のため対面での受講が可能な学生が望ましい。 また、授業中のワークに関してはソーシャルディスタンスの確保、マスク着用にて実施する